

保健体育科(男子)

重点目標 自立する！楽しさを見つける！思いやりの心！積極的に！

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証(成果と課題)
第三学年	<p>少しずつ意欲的に取り組める生徒が増えてきた。集団行動において、声を出せるリーダーの育成、全体の意識の向上が課題である。</p> <p>実技面での個人差が大きい。</p> <p>ルールや技能の練習方法、教科書の内容を理解していない生徒が多い。</p> <p>学習カードの記述が自分の動きについて考えて記入できるようになってきている。今後は自分の動きのみならず、チームや周りの集団に目を向けて記入していくことが課題である。また、記入することが困難な生徒も少なくない。</p> <p>一つ一つのスキルテスト・学習カード等についての評価への意識が薄い。</p>	<p>意欲的に活動することへの評価を言葉や態度で生徒に分かりやすく伝えていく。生徒の見本となる行動を教師が心がけ、生徒とともに授業を作っていく。状況においては、全体の進行を止め、毅然とした態度で説明していくことも心がける。</p> <p>運動量を多くとるように計画・進行をする。グループ学習を工夫し、生徒の技能に応じた確な役割分担を大切に作る。</p> <p>正式なルールにこだわらず、生徒に見合うルールの工夫を行う。練習方法に関しては、掲示資料を参考にしながら視覚的に伝えていく。授業で教科書を活用し、確認しながら進めていく。</p> <p>授業での教師の声かけが、生徒がカードへ記述するヒントとなるように「言葉」をよく考えて発する。また、授業後の振り返りでは、チームや集団への反省などを発表させながら、個だけではなく集団へ目を向けられるような環境作りに努める。記入が苦手な生徒へは、授業時に質問したり、会話をしたりしながら口頭で確認するサポートをする。</p> <p>評価する内容について、多くの生徒に理解され、意欲的に取り組めるよう、なるべく細かくわかりやすく、目的やねらいを伝える。生徒からの質問に対して明確な言葉を発するよう心掛けるだけでなく、事前の準備をしっかりと行い、評価基準をしっかりと持って授業に臨む。</p>	<p>手本となる生徒を皆の前で発表させ、目指す方向を視覚的に示す。また、発表者が自信を持てる環境づくりに努める。</p> <p>掲示資料を用意し、視覚的に理解できる教材を準備する。</p> <p>生徒の様子を良く確認する。また、生徒の意見を尊重しながら、生徒に合った環境づくりに努める。</p> <p>学習カードに評価のコメントを記入し、どのような視点で見たり、考えたりしたら良いかを助言していく。</p> <p>掲示資料を用意し、視覚的に理解できる教材を準備する。</p>	